# Apple IP Gateway の紹介

工学部分子化学工学科　仁科辰夫
nishina@est.che.tohoku.ac.jp

## 1　はじめに

Apple 社からは Apple IP Gateway というソフト (希望販売価格 35,000 円) も販売されていますが，これは AppleTalk パケット内に包まれた TCP/IP のパケット (MacTCP を開いた状態で LocalTalk や EtherTalk を選択すれば TCP/IP パケットが AppleTalk パケット内に包まれる) を取り出し，Ethernet 上に流すためのものです。IP アドレスの動的管理 (連続した IP アドレスが必要) も行いますので，IP アドレスの節約にもなるというお薦めしたいソフトです。しかしながら，今回の network range の変更においては，Apple IP Gateway の設定変更は不要です。詳細は Apple IP Gateway のカタログやマニュアルをご覧ください。ちなみに，Apple IP Gateway は SCSI 接続型の Ethernet Ada ptor とは相性が悪いようで，起動してくれませんのでご注意ください。増設カードのものは大丈夫なようです。

## 2　注意事項

Apple IP Gateway を導入する場合は，連続した IP address を取得する必要があります。必要となる連続した IP address の数は，LocalTalk で接続された mac の中で何台が同時に TCP/IP のアクセスをするかによって変化します。中には起動されていない Mac もあるでしょう。Apple IP Gateway は IP Address の動的な割り振りを行いますから，このような起動されていない Mac には IP address を割り当てません。また，1 本の LocalTalk 上には 32 台までの Mac やプリンター等が接続できますが，32 台もつながった状態では LocalTalk 上のトラヒックが多すぎ，ほとんど使い物にならないほど速度が低下するものと考えられます。したがって，LocalTalk で接続された mac の台数分の連続した IP address を取得するまでも無いと考えられます。どの程度の数が必要かは難しい選択ですが，10 個もあれば十分な場合がほとんどのようです。最近はどこの部局でも IP Address が足りないということが問題になってきているようですから，Mac の台数分の連続した IP address を取得するのは難しい状況にあると考えてもよいでしょう。で

すから，Apple IP Gateway を導入する場合は，連続した IP address を取得する前に，AppleTalk グループに相談して下さい。

また，Apple 社からは Apple Internet Router AppleTalk/IP 接続機能拡張というソフト (希望小売価格 68,000 円) も販売されています。これは Apple IP Gateway のちょうど逆のような動作を行うソフトであり，TCP/IP のパケット内に AppleTalk パケットを包んで Ethernet 上に流すもので，いわゆる IP tunneling を行うためのソフトです。**SuperTAINS**は TCP/IP のみが許された環境ですから，AppleTalk を**SuperTAINS**で使うためには，このソフトが必要になるかもしれません。また，unix に UAR や ARNS を install することによって，IP tunneling 機能や TCP/IP のパケット内に AppleTalk パケットを包む機能を利用して，遠隔地の AppleTalk network に接続することも出来ます。(p.19 参照)